

学校だより 麦の穂



令和4年度8月号 7/22 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 1,026人(±0人)
電話番号 25-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

2021年10月31日に取り付けた「学校ホームページ」のカウンターは、10万アクセスを超えました。

毎朝の検温、健康観察、健康観察アプリでの報告など、保護者の皆様の新型コロナウイルス感染症拡大防止への御協力により、学校内での集団感染(クラスター)などを発生させることなく、計画した1学期の全ての教育活動を無事に終了することができました。これも保護者、地域の皆様の御理解と御協力があったることと心より感謝申し上げます。

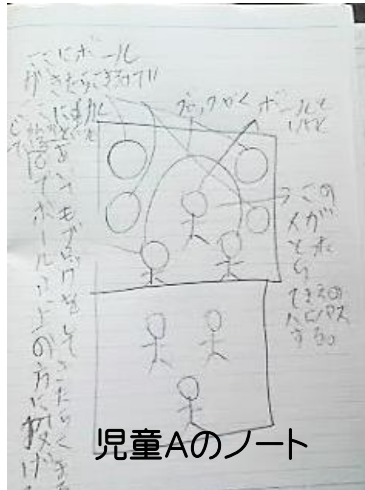
さて、静岡県では、連日2千人を超える感染者が報告されるなど、感染力の非常に強い変異したオミクロン株BA.5の勢いが止まりません。各家庭におかれましては、夏季休業中の検温、健康観察の継続、新しい生活様式の厳なる実践など、子供たちが御家族の皆様と一緒に染対策を意識した生活、行動ができますよう引き続きのお声掛け、御指導をお願いいたします。



■「自ら考え、共に学ぶ子」を育てる

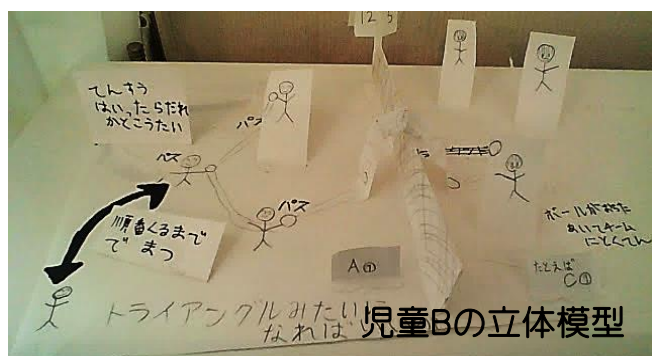
校長 川口秀也

本校では、「学校での学習を活性化させるICT器機を効果的に活用した家庭学習の充実」に昨年度から取り組んでいます。基礎的・基本的な内容を定着させるいわゆる書き取り、計算ドリルなどの宿題も大切にしながら、タブレットの機能を効果的に活用した「家庭での『自主的な学び』と『授業』をつなぐリンク学習(仮)」の実践を通して、子供たちの真の学力の向上と「自ら考え、共に学ぶ子(自律した学習者)」の育成を目指しています。



1学期、4年生は体育で「キャッチバレーボール」に取り組みました。担任の先生はチームの子供たちが自由に活用できるストリーム(投稿画面)を準備すると、例えば児童Aは、授業を振り返りチームの作戦を練り直してノートにまとめ、それをチームのストリームに投稿します。それを見た仲間は、その内容についてコメントし、よりよい作戦づくりの思考と対話が授業外でも続きます。

また、児童Bは、メンバーの動きのイメージを分かりやすく伝える



ために、立体模型を作成して授業に参加します。児童Cは、これまでの自分たちの授業の目標、それを達成するために考えた作戦、実際に授業中に撮った自分たちの動きの動画など、これまでの学びの過程をスライド(プレゼンテーションアプリ)にまとめてストリームにあげ、チーム力を向上させるために何が必要か、仲間にコメントを求めます。ここでも主体的な思考と対話が展開されます。

こうした学びには、本校が目指す「自ら考え、共に学ぶ子」の姿があります。子供たちが蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報の中から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、仲間と協力しながら新たな価値を生み出すことのできる自律した学習者を育てられるよう、子供たちと共に取り組んでまいります。夏休みは、子供たちがそれぞれの興味関心に基づいて、自主的な学習に取り組める環境づくりをお願いします。